

## まえがき

昭和36年に創設され、まもなく50周年を迎える高等専門学校制度は、我が国における技術者養成制度として重要な位置を占めています。明確な教育目的を持ち、15才からという早期の、また5年間という比較的長期の体験重視型の専門教育は、実践的・創造的技術者を養成するうえで高い教育効果をあげ、各方面から高く評価されています。

しかし、一方では近年の15歳人口の減少、理科への関心の薄れ、卒業後の大学等への進学率の高まりなどの進路の多様化、さらには我が国経済の不振など、高等専門学校を巡る状況は大きく変化してきており、これらの現状や変化に伴う諸課題に適切に対応し、教育・研究の質を維持・向上させて、社会の負託に応える努力が一層求められています。

このため、本校では、高専機構の中期計画に基づき、本校中期計画・年度計画を定め、本校の活動について様々な観点からの改善・強化を続けています。例えば、複眼的視野を持つ開発型技術者の育成をめざして実施した専攻科の3専攻から1専攻への改組、特色ある教育・地域貢献プログラムのため、高専機構の特別教育研究経費を獲得しての「最先端技術を理解するための学際カリキュラム策定」や「サテライト・キャンパスの設置による情報発信と地域貢献の促進」、また広報誌やHPの刷新による広報戦略強化などは、その一部です。

本校が社会から要請される役割に更に適切に応えるには、本校の教育研究や地域貢献活動等学校運営全般について自己点検・評価を定期的に行い、同時に外部専門家等による外部評価を受けて、改革・改善のサイクルを回し続けることが重要です。このため本校では社会の第一線で活躍されている技術者や経営者、教育関係者、行政関係者からなる「小山工業高等専門学校外部評価委員会」を設け、本校の教育研究活動や学校運営に関する率直な評価やご意見を定期的・継続的にいただいているところです。

本外部評価報告書は、平成12年度に実施した初めての外部評価以降、第4回目の外部評価で、本校が平成22年6月に作成した「自己点検評価報告書(平成19年度～平成21年度)」をもとに、本年8月～9月に外部評価委員の方々より忌憚のない評価・ご意見を伺ったものを取り纏めたものです。また、平成22年10月のJABEEプログラム認定継続審査にかかる自己点検書等についても評価やご意見をいただき、本報告書に収録しています。

この外部評価委員会においていただきましたご意見・評価を、私どもは真摯に受け止め、今後の本校の教育研究活動・地域貢献活動の改善・充実に活かし、社会からの期待に十分応えられる学校作りを目指していきたくと考えています。

外部評価委員の皆様におかれましては、ご多忙中にもかかわらず本校の自己点検評価書の審査、評価委員会へのご出席など多大なご尽力をいただき、教職員を代表して心より御礼申し上げます。今後も本校の教育活動や学校運営に関しまして、変わらぬご指導・助言を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年 2月

小山工業高等専門学校長  
荇 谷 勇 雅